

ロングアドベンチャー

8月23日(木) ~ 8月28日(火)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	レクリエーション大会	工作 振り返り
2日目	施設内探検	キャンプ場へ移動 野外炊飯	振り返り
3日目	秘密基地づくり	水遊び 野外炊飯	振り返り
4日目	野外炊飯 グループタイム	ハイキング、買い出し 野外炊飯	振り返り
5日目	野外炊飯 宿題タイム	グループタイム スタンプ練習	キャンプファイヤー
6日目	施設清掃	施設を出発 解散式	

一日目： 今年台風の進路を気にしながらの幕開けとなりましたが、行きのバスからとても元気で移動の後半には騒ぎ疲れて眠るメンバーもおられました。施設に到着すると、まだ晴れ間が見えたので屋外でお弁当を食べました。昼食後は体育館で遊びました。グループメンバーの名前を覚え、並び替えゲームをしたり、ドッチボールをしたり、頭と体をたくさん動かしました。グループ対抗の『ルート探し』という遊びはみんなが初挑戦の遊びでした。勝つ為にグループの友達と相談し、声を掛け合う姿が見られました。その後食堂へ移動し、夕食の焼きそばを作りました。ぎこちない手つきでしたが、包丁を順番に使い野菜を切り分け、完成した焼きそばをペロリと平らげました。夜は決起会をしました。一人ずつ旗に『キャンプでがんばりたい事』、『理想のグループ』を書き、『気合いの手形』を押ししました。



二日目： 朝起きると青空が見えました。まだ少し風が強い為、登山ではなく施設内探検にプログラムを変更しました。朝食を済ませ、広い施設の地図を持ち、行きたい場所ややりたい事を出し合いグループで楽しみました。広場で鬼ごっこをしたり、バッタやコオロギなどの虫を捕まえたり、秘密基地づくりの下見に行ったり、たくさん遊び話した事でグループの友達との距離がぐっと縮まりました。昼食後、テントへ荷物を運び込み、このキャンプ初めての野外炊飯に挑戦しました。メニューは『ご飯』と『野菜炒め』でした。かまど、包丁、お米係に分かれ、やり方を考えながら作り進めました。かまどの火がなかなかつかないグループがあり、隣のグループとの調理スピードの差に焦る姿も見られました。しかし、どのグループも困った事があるとみんなで相談しながら作り、最終的には美味しいご飯が完成しました。今夜の振り返りは自分の「ハイ(嬉しかった出来事)&ロー(悲しかった出来事)」を書き出しました。



三日目： 起床後、朝食を済ませると、一目散に昨日下見をしていた場所へと向かい、秘密基地づくりが始まりました。どんな秘密基地にするか、材料は何がいいか、お互いのイメージを伝えながら作業を進めておられました。石を並べ文字を作ったり、グループの旗を作ったり、板とひもでブランコを作ったり、次々に秘密基地が形になっていきました。「〇〇作りたいんやけど、どうしたらいいかな?」と相談し合うメンバーや、「紙コップある?」と新しい道具を借りにくるメンバーなど、作業後半になるにつれてアイデアが溢れていました。昼食後は、初日から楽しみにしていた水遊びをしました。水鉄砲を片手に広い芝生を逃げ回り、バケツの水を被ったり、ホースで水を掛けてもらったり、とても気持ち良く開放的な時間となりました。そして夕食は二回目の野外炊飯をしました。昨日とは違う係に挑戦したり、同じ係でレベルアップを目指したり、それぞれで考えて調理を進め美味しいご飯が完成しました。



四日目： 気付けばもう四日目。キャンプも残り半分となりました。午前中は秘密基地でのんびり過ごし、キャンプファイヤーで披露するスタンプについて考えました。そして早めの昼食を終え、このキャンプの最大の山場であるスーパーまでのハイキングへと出発しました。なだらかな坂を下り、その後国道9号線沿いを歩くという約7kmの道のりです。出発時は賑やかだったメンバーの顔からだんだんと笑顔が消え、口数が減り、休憩が多くなりました。まだ余力のあるメンバーが足取りが重いメンバーを挟む形で列になり、ゴールのスーパーを目指しました。表情が曇り、諦めムードが漂っていましたが、コンビニで食べたアイスがみんなの笑顔と気合いを取り戻してくれました。やっとの思いでスーパーに辿り着き、待ちに待った買い出しが始まりました。値段を計算しながら自分達で考えたメニューの材料を選び、余ったお小遣いでお菓子やジュースを購入しました。施設へと戻り、早速購入した食材を調理しました。グループで決めた『オムライス』、『具沢山カレー』、『ピーマンの肉詰め』を手際よく完成させ、笑顔で食べておられました。



五日目： いつもより起床時間を遅らせ、ゆっくり体を休めました。朝食は棒焼きパンに挑戦しました。棒にアルミホイルとパンの生地を巻き付け、かまどの火で焼くのですが、直接火に当てると焦げてしまう為、常に気を配りながら焼きました。次第にパンが膨らみ、いい匂いがしてくると、待ちきれないといった様子でした。焼き立てのパンにジャムやチョコソースをつけ、あっという間に完食しておられました。朝食後からキャンプファイヤーまでの時間はグループタイムとなり、宿題、お菓子パーティー、昼寝、スタンプ練習と思いつきの時間を過ごしました。そして、いよいよキャンプファイヤーが始まりました。今年は珍しく全グループが劇を披露し、大盛り上がりでした。緊張しながらも大きな声や動作で堂々と演じ切っておられました。その後のお風呂や振り返りでもテンションが高く、最後の夜はとても賑やかでした。



六日目： 最終日の朝は小雨が降っていました。朝食を済ませ、荷物の片付けやキャンプ場の清掃に取り掛かりました。清掃場所は非常に多くありましたが、一人一人ができる事を探し隅々まで綺麗にしました。施設の方の点検を一発で合格し、最後に秘密基地の撤収へ向かいました。「他の秘密基地も見たい！」との声もあり、撤収の前に全グループの基地を順番に巡り、工夫した所を嬉しそうに紹介しておられました。撤収完了後、一日目に作成した気合いの旗に寄せ書きをしました。参加メンバー全員の名前を集めたり、思い出の絵を描いたり、残り僅かな時間をみんなで楽しみました。昼食後、施設の方の見送りを受け、バスは尼崎へ出発しました。友達との別れを惜しみながらも「来年も会おうね！」と姿が見えなくなるまで手を振っておられました。



<キャンプ総括>

今年はフレンドリーなメンバーが多く、行きの車内からとても賑やかでした。そして、その賑やかさは衰える事がなく、六日間をみんなで楽しみ切る事ができました。仲良くなり、気を許しているからこそ喧嘩が起こり、話し合いが続く時もありました。しかし、『スタンプ練習』の時間だけは喧嘩が起こらず、時にはみんなが笑いすぎて話が前に進まない程盛り上がっていました。劇の物語や配役、小道具作りまで自分達で進め、本番では本当にいきいきとした表情で発表していました。また、三匹の子ブタが高層マンションに暮らしていたり、ドラえもんの物語にトトロが現れたり、配役を男女反対にして決めていたり、とても沢山の工夫が見られました。それでも「まだまだ進化させられる！」と話しており、楽しい事を作り出す事へのわくわく感が溢れていました。一人一人の可能性を強く感じると共に、これからも更もっと楽しい事を一緒に作りたいと感じました。来年は更に進化したロングアドベンチャーにしたいです！

最後になりましたが、台風接近による変更が相次ぎご心配をおかけいたしました。天候に不安を抱えての開催にも関わらず、ご参加いただき誠にありがとうございました。 (生本 ひろみ)